

# 浜銀総研 News Release



2016年9月28日

## 神奈川県内企業の来春の新卒採用計画

— 企業経営予測調査（2016年9月）特別調査結果 —

### 要 旨

#### 【中堅・中小企業の新卒採用意欲は引き続き旺盛】

神奈川県内中堅・中小企業の2017年春の新卒採用計画については、回答企業408社の採用予定者数が2016年春の実績を10.4%上回り、2008年春の採用計画（前年実績比17.4%増）以来9年ぶりの高い伸びとなった。

#### 【新卒採用予定者数は「確保できない」との回答が前年に続き高水準】

採用予定者数の確保の見通しについては、「確保できない」とする企業の割合が35.9%となり、前年調査の36.7%に続いて高い水準になった。来春の新卒採用は今春に引き続き困難になると予想されている。

#### 【必要な雇用人員確保のための対応】

新卒採用以外の方法で必要な雇用人員を確保するための対応策（複数回答）としては、「中途採用の実施」（75.8%）が最も多く、「パート・アルバイト、派遣社員の採用」（48.9%）が続いた。反面で、「特に対応せず」は11.6%と過去10年間で最も低くなっており、企業にとって雇用人員の確保が看過できない経営課題となっている様子がうかがえる。

【本件についてのお問い合わせ先】  
（株）浜銀総合研究所 調査部 新瀧健一  
TEL. 045-225-2375（ダイヤルイン）

(来春の卒業予定者の採用計画)

神奈川県内の中堅・中小企業に2017年春の新卒採用計画（2016年調査）について尋ねたところ、回答企業408社の採用予定者数は1,144人となり、2016年春の実績を10.4%上回り、2008年春の採用計画（2007年調査、前年実績比17.4%増）以来9年ぶりの高い伸びとなった。

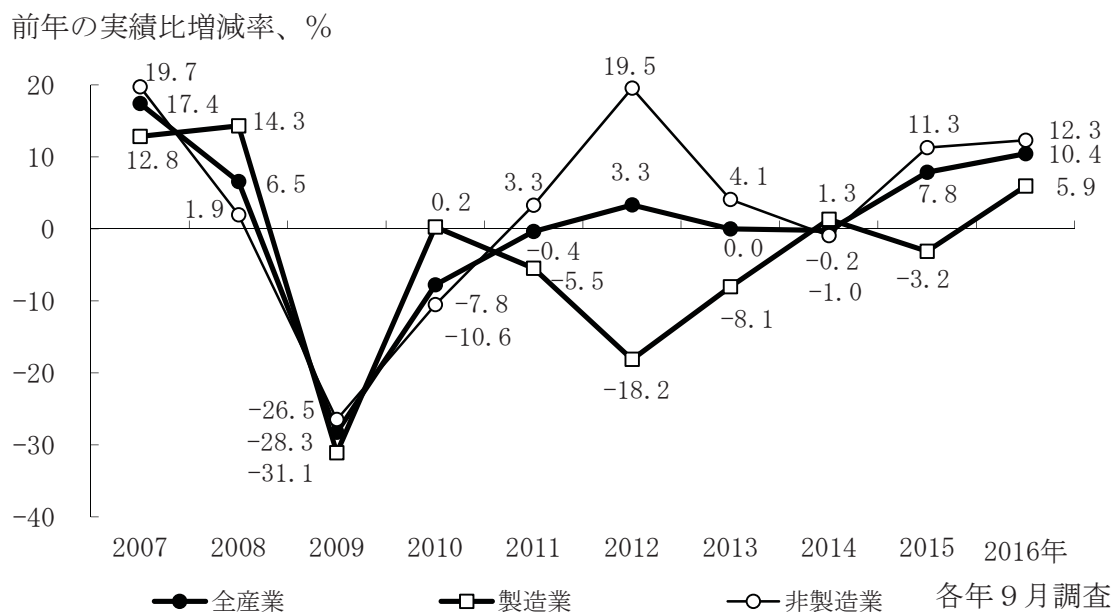
製造業・非製造業別にみると、製造業は同5.9%増となった。業種別には輸送機械の採用予定者数が実績を下回るものの、その他の業種は前年並みもしくは増加する計画となっている。なかでも、電気機械や電子部品・デバイスは高めの伸びとなっている。一方の非製造業は同12.3%増と前年の計画に続く高い伸びとなった。業種別には飲食店・宿泊や建設、小売が高めの伸びとなっている。

来春の卒業予定者の採用計画

区分	今春 採用者数 (人)	来春 採用予定者数 (人)	増加人数 (人)	増加率 (%)	回答 社数計 (社)	うち採用予定 のある企業数 (社)
全産業	1,036	1,144	108	10.4	408	197
製造業	303	321	18	5.9	162	88
非製造業	733	823	90	12.3	246	109

(注)回収総数 429 社のうち本設問に回答しなかった 21 社を除く集計値である。

新卒採用予定者増減率の推移



(新卒採用予定者数の確保見通し)

採用予定者数の確保の見通しについては、「確保できる」が10.8%となり前年調査の13.8%から低下した。一方、「ほぼ確保できる」は53.3%と前年調査(49.5%)から上向いた。なお、「確保できない」とする企業の割合は35.9%となり、前年調査の36.7%に続いて高い水準になった。来春の新卒採用は今春に引き続き困難になると予想されている。

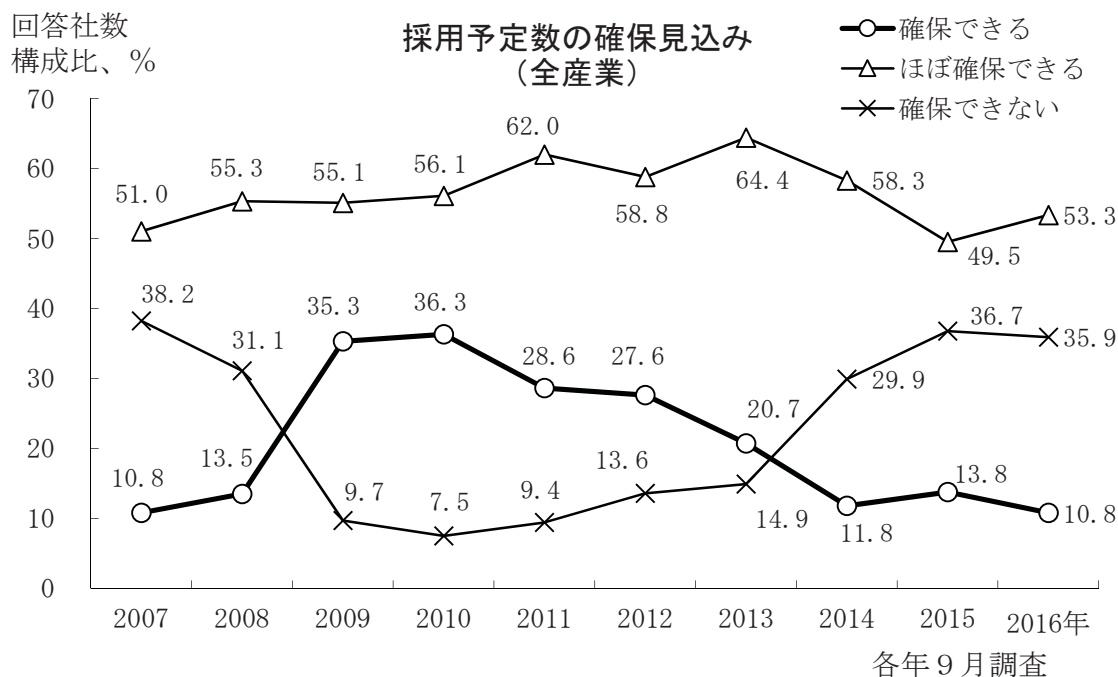
製造業・非製造業別に「確保できない」と見込む企業の割合をみると、製造業(30.7%)に比べて非製造業(40.2%)が高くなった。製造業では輸送機械が低めにとどまった反面で、電子部品・デバイスが高めとなった。非製造業においては、飲食店・宿泊や建設において「確保できない」と見込む企業の割合が高くなった。

来春卒業予定者の採用予定数の確保見込み

(上段：回答社数、下段：回答社数構成比、%)

区分	確保できる	ほぼ確保できる	確保できない	回答社数計
全産業	21 (10.8)	104 (53.3)	70 (35.9)	195
製造業	13 (14.8)	48 (54.5)	27 (30.7)	88
非製造業	8 (7.5)	56 (52.3)	43 (40.2)	107

(注)採用計画のある197社に対する設問。なお2社が未回答である。



(必要な雇用人員確保のための対応)

新卒採用以外の方法で必要な雇用人員を確保するための対応策を尋ねたところ(複数回答)、「中途採用の実施」と回答した企業が75.8%と最も多く、「パート・アルバイト、派遣社員の採用」が48.9%、「高齢者雇用の実施」が22.3%で続いた。

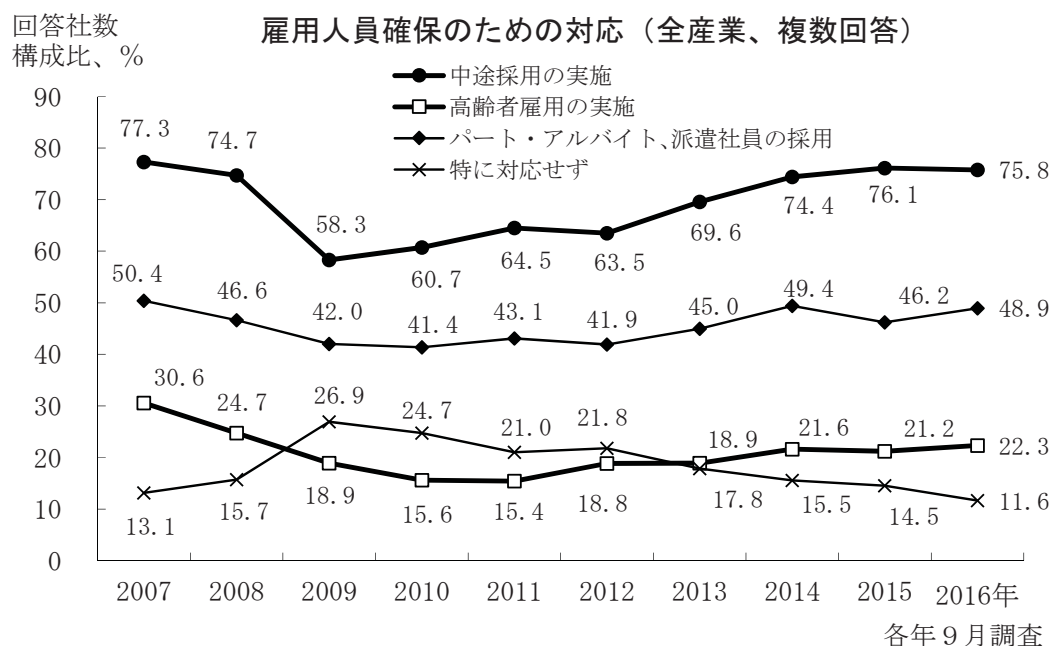
なお、「特に対応せず」と回答する企業の割合は2009年調査で急上昇した後は低下を続け、今回調査の11.6%は過去10年間で最も低くなった。企業にとって雇用人員の確保が看過できない経営課題となっている様子がうかがえる。

来春以降必要な雇用人員を確保するための対応 (複数回答)

(上段：回答社数、下段：回答社数構成比、%)

区分	中途採用の実施	高齢者雇用の実施	パート・アルバイト、派遣社員の採用	特に対応せず	回答社数計
全産業	319 (75.8)	94 (22.3)	206 (48.9)	49 (11.6)	421
製造業	124 (74.7)	34 (20.5)	91 (54.8)	19 (11.4)	166
非製造業	195 (76.5)	60 (23.5)	115 (45.1)	30 (11.8)	255

(注)回収総数 429 社のうち本設問に回答しなかった 8 社を除く集計値である。



\*本調査結果は、神奈川県内の中堅・中小企業に対して実施した企業経営予測調査(2016年9月)のなかで、特別調査として来春の新卒採用計画に関する質問を設け、その回答を集計したものである。(対象企業：神奈川県内の中堅・中小企業1,212社、回収率35.4%)

以上

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。